

くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
43

2026年
1月発刊



旧北国街道:旧北国街道の石仏群。傍には流灌頂も残っている。黒部市宇奈月町下立で撮影。(写真/亀山 智樹)

新年のご挨拶

富山県済生会富山病院 院長 亀山 智樹

トピックス

- 11/30フードパントリー
- 無料低額診療・相談会
- 駐車場有料化のご案内
- 事務職員の制服廃止
- 無料健康相談会
- 小児近視外来のご案内
- 8/1栄養の日イベント
- 新任医師紹介
- 売店のリニューアル
- 10/31世界脳卒中デーイベント
- 新任自己紹介
- くすのき保育園について
- 11/14糖尿病デーイベント
- 理念・基本方針



社会福祉法人 済生会

富山県済生会富山病院

<https://www.saiseikai-toyama.jp/>

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



新年のご挨拶

院長 亀山 智樹

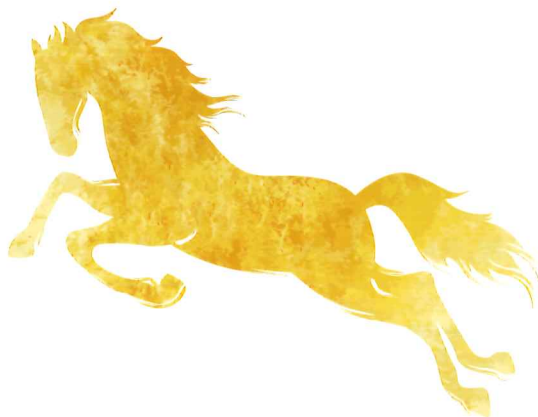
新年おめでとうございます。

今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。江戸時代から迷信的に語られることもあります。本来「丙」は燃え盛る太陽を表し、強い輝きや情熱、情け深さを示します。また「午」は夏の盛りを象徴し、陽気さや活発さを意味します。火の性質を二重に持つ「丙午」は、熱い情熱と強い行動力をもって前向きに進む年とされています。

近年、世の中の変化は目まぐるしく、医療を取り巻く環境も例外ではありません。医師不足や少子化の影響により、済生会富山病院でも小児科・産科の診療を休止せざるを得ない状況となりました。一方で、年間3,000件を超える救急搬送患者の年齢は年々上昇し、高齢者特有の疾患が増えています。また、薬剤師、看護師をはじめとする医療従事者や職員の確保も難しくなっています。

このような時代の流れの中で、済生会富山病院もこれまでの「治す」医療から、「治し支える」医療、さらには「健やかさを維持する」医療へと舵を切っています。人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)などのデジタル技術を積極的に活用しながら、「患者さん本位の、心温まるすぐれた医療の提供」を実現していきたいと考えています。

本年も、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



駐車場有料化についてのお知らせ

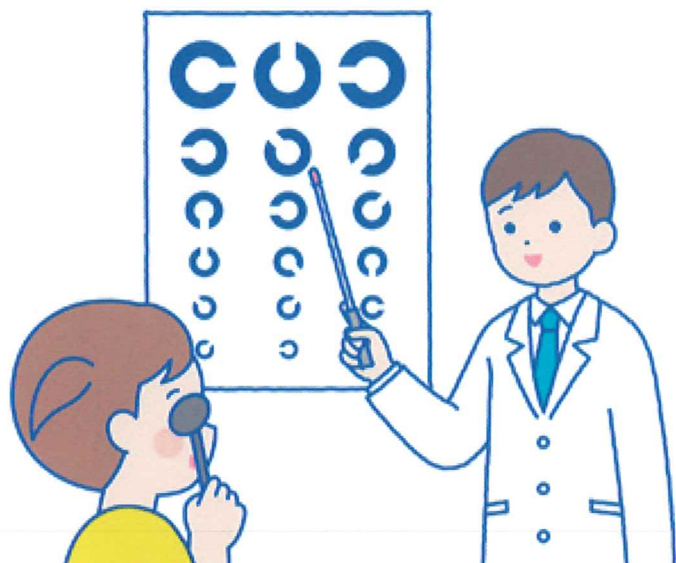
当院では、2025年7月1日より駐車場利用について有料化となりました。料金体系は、外来患者様は入庫後5時間無料(以降60分100円)、お見舞いの方は入庫後30分無料(以降60分200円・24時間最大800円)、一般の方は30分400円という設定となっており、料金精算は、出庫前に院内設置の精算機にてお願いする形式となっております。施設管理の維持向上のためご理解とご協力をお願いいたします。



こどもの近視外来始めました

眼科外来

外遊びの減少、デジタルデバイスの使用に伴い、近視のこどもが増えています。
当院眼科外来では学童期に近視の進行をゆるやかにする外来を始めました。
小学生以下から予防することで、将来の見え方や病気のリスクが変わってきます。



このような
お子様に
おすすめです

小学生以下の方で
軽度または中等度の
近視の方

小児眼科専門の医師と、国家資格をもった
視能訓練士で検査と診察を行っています。

担当医師 片山
担当視能訓練士 長谷川・佐渡

近視外来のホームページは▶
こちらからご覧いただけます



院内売店リニューアルオープンのご案内

用度課

この度、皆さまにより快適にお過ごしいただけるよう当院の院内売店を10月14日(火)にリニューアルオープンいたしました。グリーンを基調とした明るい空間で、軽食や飲料、お菓子、日用品に加えて、挽きたてのコーヒーなどを取りそろえております。営業時間は毎日8時から19時までとなっております。診察の合間やご入院中、ご面会の際にぜひお気軽にお立ち寄りください。

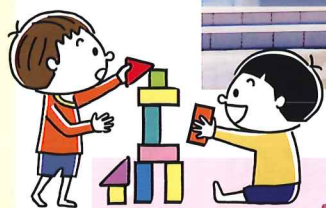


くすのき保育園の直営化についてのお知らせ

「済生会富山 くすのき保育園」は、当院職員のお子さん、地域のお子さんをお預かりする認可を富山市から受けた事業所内保育園(地域型)として、令和4年の開園以来「外部業者委託」により運営してまいりましたが、9月1日より当院の直営となりました。園長は亀山智樹院長、副園長は保育士の永島葵先生が務めることとなりました。

直営化により、保育士が当院の仲間(=当院職員)となったことで、これまで以上に当院との情報連携・共有を密に行うことが出来るようになり、職員の働きやすさに繋がっています。職場環境が良化することで職員のモラル・モチベーションが向上し、これまで以上に親御さんは安心してお子さんを預けていただくことができます。

また当園は、きれいで広々とした施設で、お子さんがのびのび過ごせる環境が整っています。引き続き、より安心して親御さんが当園をご利用いただけるよう、職員スキルの向上と保育園施設管理の維持向上に努めてまいります。



子どもたちと一緒に笑顔で成長を

副園長 永島 葵

このたび、「済生会富山 くすのき保育園」の副園長として、新たなスタートを切ることになりました。保護者の皆さんが安心してお子さんを預けていただけるよう、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、小さな成長や発見と一緒に喜びながら、あたたかく見守っていききたいと思います。

まだまだ学ぶことも多いですが、現場の声を大切に、日々の小さな変化を見逃さず、子どもも保育士も笑顔あふれる園をみんなで築いていけたらと思います。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

第3回「フードパントリー（食品配布会）」を開催

事務部次長 前田 伸明

11月30日(日)、第3回「フードパントリー（食品配布会）」を開催しました。ひとり親家庭を支援する社会支援事業の一環として実施したものです。当日は、亀山院長を含め20名の職員と地域の富山東ライオンズクラブ会員の方、富山国際大学のボランティア部、富山大原簿記公務員専門学校、富山情報ビジネス専門学校の学生さん、にいかわ信用金庫職員方の協力を得て、訪れた家族連れに、お米やお菓子など食品計100組分や衣服等を手渡しました。

昨今の物価高の影響で食品の値段も上がっており、参加された家族からは「何を買っても値段が高く、大変ありがたい。特にお米がいただけてありがたい」と話されました。

参加した職員からは、「自分も子どもがいる立場。機会があればまた、力になりたい」と話されました。参加されたボランティアの方からは、「生活に困っている人が笑顔になれる場がもっと増えればうれしい」と活動の意義を感じていただけました。

同時に看護師による「ハンドマッサージ」を行い、ハンドマッサージを受けた方からは「初めての経験であり、癒しの時間だった」という言葉をいただいたのが印象的でした。また、給食会社さんの協力を得て、フランクフルト等をレストランにて提供し、子供さんから大変喜ばれました。

当院では、今後も定期的実施していく予定です。



事務職員の制服廃止についてのお知らせ

当院では、2026年4月1日より事務職員の制服を廃止することといたしました。服装の自由化(=私服化)後においても清潔と品位の保持と患者サービスの向上に努めますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、準備期間(2025年6月～2026年3月)においては現行の制服着用と私服着用の職員が混在することにつきましても併せてご理解いただきますよう、お願いいたします。

今年も栄養の日イベントをしました!

栄養管理科 竹之内 弘美

8月4日は『栄養の日』、8月1日から7日は『栄養週間』です。これに合わせて、管理栄養士・栄養士の活動をより広く発信することを目的として、今年も8月1日(金)に当院1階エントランスホールにて栄養の日イベントを開催しました。

当日は、無料食事相談、日本人の健康課題やキウイの栄養素などに関するポスター、病院管理栄養士のお仕事紹介ポスター展示、レシピ掲示、昨年好評だったベジチェックコーナーも設けました。



患者さんやその家族など約90名の参加がありましたが、熱心にポスターを見ている方、レシピを携帯で撮っている方、ベジチェックをして「野菜が少し足りないことが意識できました。」と言われた方など、参加された方には、栄養に関して興味を持っていただけたのではないかと思います。

今後も「栄養の日」を通して、又、管理栄養士・栄養士として多くの方に健康に生活していただくため、栄養への興味や理解を深めていただけるよう活動をしていきます。



「世界脳卒中デー in 済生会富山病院」を開催しました!

リハビリテーション科 角口 雅彦

「世界脳卒中デー」の10月29日に合わせて、当院では10月31日に脳卒中の治療と予防についての啓発イベントを開催しました。このイベントは、患者さんやそのご家族をはじめ地域住民の方に脳卒中の治療や予防に対する知識、関心を高めていただくことを目的に開催しています。体験イベントでは相談コーナー、血圧、握力、舌圧測定を行いました。講演会では「脳卒中の予防について」脳神経外科の久保道也先生が講演されました。



脳卒中は日本人の死因第4位(2024年厚生労働省の人口動態統計)で寝たきりとなる原因の第1位とされている病気です。脳卒中の予防には高血圧、糖尿病、不整脈(心房細動)、脂質異常症の管理、禁煙、節酒、バランスの取れた食事、適度な運動などの生活習慣の改善が重要と言われています。今後もイベントを通して脳卒中の治療や予防についての有用な情報を発信していきたいと考えております。

世界糖尿病デー2025イベントについて

糖尿病内分泌内科 伊藤 みか

11月14日は世界糖尿病デーです。糖尿病の予防や治療継続の重要性について皆さんに知っていただく重要な機会となっています。当院では2025年11月14日(金曜日)に「世界糖尿病デー2025」のイベントを行いました。今回は2019年のコロナ禍が明けてから5年ぶりに食事会を開催しました。当院管理栄養士監修の糖尿病デー弁当を食べていただきながら、当院糖尿病ケア委員会から多職種で講演を行いました。

まず管理栄養士からお弁当の内容について説明しました。医師は、日本糖尿病学会と日本糖尿病病協会が「糖尿病」が「ダイアベティス」に呼称変更を提案したことをお話しました。看護師は2024年1月の能登半島地震を踏まえて、糖尿病患者さんが行うべき災害対策について説明しました。薬剤師は、「進化する糖尿病治療薬～新しい薬と生活の質(QOL)の向上」のタイトルで、SGLT2阻害薬やGLP-1作動薬を中心に説明しました。理学療法士は糖尿病の運動療法について解説し、参加された皆さんに実際に運動していただきました。最後に当院の糖尿病患者会「くすのき会」について、代表の方からお話しをしていただきました。会場では、様々な嗜好品に含まれる糖分に相当する角砂糖を展示して、多くの糖分が入っていることを実感していただきました。また能登半島地震の時の写真や、災害時に用意しておくべき物品の見本を展示して、災害への備えについて考えていただきました。イベントには24名が参加され、ほとんどの方がイベントに対して「大変良かった」「よかった」とおっしゃっていただきました。そして「弁当を実際に食べて聞くことができて勉強になった」「今後もこのような機会があれば、参加したい」など感想を寄せてくださいました。参加された皆さんのご意見を参考に来年度もイベントを計画してまいります。



済生会富山病院では 無料低額診療事業を 実施しています

無料低額診療事業とは、医療費を

減額 免除

できる制度です。



生計困難な方が経済的理由により、
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、
まずは医療福祉支援センターへご相談ください。
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉支援センター(1階エントランスホール3番)
TEL 076-437-1111(代) 月～金 8:30～17:30

無料健康相談会

毎月、医師・看護師・保健師等の専門職による
健康相談、保健教育を目的とした、相談会等を
当院で実施しています。お気軽にご参加下さい。

2025年12月17日(水) 13:30~15:00 1階エントランスホール

内容:健康相談会 (お一人 15分程度)

担当:保健師・社会福祉士 (MSW)

2026年1月12日(月) 10:30~14:00 富山県民会館 展示室・3階

別会場

内容:市民公開講座

テーマ:「あなたの脳と心臓を守ります」

2026年2月20日(金) 13:30~15:00 1階エントランスホール

内容:健康相談会 (お一人 15分程度)

担当:保健師・社会福祉士 (MSW)

2026年3月18日(水) 13:30~15:00 1階エントランスホール

内容:健康相談会 (お一人 15分程度)

担当:保健師・社会福祉士 (MSW)

4月以降の開催予定は、当院ホームページに掲載予定です。

内容は予告なく変更、中止になる場合があります。予めご了承下さい。



済生会富山病院 1階3番

医療福祉支援センター(医療福祉相談室) TEL 076-437-1101



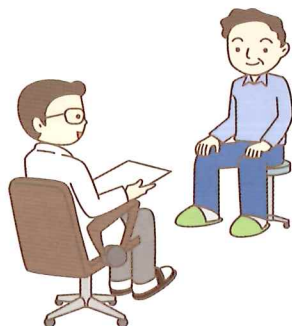


ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成



バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

【患者さんの権利】

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

【患者さんの責務】

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務



済生会富山病院報
くすのきだより
—— 発行者 ——
富山県済生会富山病院
院長 亀山 智樹

【編集委員会】

能登 貴久	上田 周平	河瀬 晶美
浜松めぐみ	宮坂 歩夢	宮成 晶子
新田 展子	森 拓也	小笠原亜海
森井 有梨	前田 伸明	越善 葉月